



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年1月30日

上場会社名 株式会社シモジマ

(コード番号：7482 東証第一部)

(URL <http://www.shimojima.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 下島和光
責任者役職・氏名 取締役経理部長 谷中浩三

TEL:(03)-3862-8626

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
- 最近会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
- 持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日 ~ 平成17年12月31日)

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	32,777	7.0	2,942	2.0	3,162	1.1	1,785	5.1
17年3月期第3四半期	30,643	3.5	2,884	7.9	3,124	4.2	1,698	4.0
(参考)17年3月期	40,089	2.7	3,560	13.2	3,869	9.0	2,209	3.8

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	73.64			
17年3月期第3四半期	84.73			
(参考)17年3月期	108.39			

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成17年4月1日~平成17年12月31日)におけるわが国経済は、企業業績の改善や設備投資の増加さらには個人消費の持ち直しなどから踊り場を脱却し緩やかな回復基調にあります。しかし一方では、原油高に代表される原材料価格の高騰から、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は「お客様のニーズ」に迅速かつ的確にお応えすることを経営理念として商品開発及び提案型営業を展開してまいりました。

営業販売部門におきましては、フランチャイズチェーン政策(「パッケージプラザ」事業)における当第3四半期の新規出店は4店舗、増床を含めたりリニューアルは15店舗おこないました。スーパーバイザーによる定期的な店舗指導のほか、全国統一売出等により売上高の増進を図りました。ディーラールートでは、花材業界への販売が引き続き好調に推移し、更に食材卸業界など新規販売チャネルも開拓しております。ユーザールートでは、新規・深耕開拓が順調に進んだことと、受注から納品までを得意先毎に最適化した提案(オンリーワン物流)が受け入れられたことなどから売上高が増加しております。この結果、営業販売部門の当第3四半期売上高は213億46百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

直営店販売部門につきましては、名古屋店が業務用食材を取り入れた幅広い品揃えにより、新しい顧客層の開拓に成功し売上げを伸ばしております。また、通販部門は関東、関西ともに順調に売上げを伸ばしております。さらに、ギフトラップ館ではプライダ関連等のイベント商品売上が伸びております。この結果、直営店販売部門の当第3四半期売上高は114億30百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

これらの結果、全社の当第3四半期売上高は327億77百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

利益面では、海外・国内ともに化成品の原料価格が高騰し、販売価格への転嫁が限定的であったことから、全社の売上原価率は上昇いたしました。販売費及び一般管理費につきましては、売上の増加及び小口発送の増加などから物流費が増加しております。

この結果、当第3四半期の営業利益は29億42百万円(前年同期比2.0%増)、経常利益は31億62百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	29,103	23,402	80.4	965.34
17年3月期第3四半期	29,798	24,489	82.2	1,212.02
(参考)17年3月期	29,805	24,659	82.7	1,220.42

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	661	540	561	5,455
17年3月期第3四半期	43	311	48	4,218
(参考)17年3月期	1,721	316	48	5,895

〔財政状態の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期の財政状態は次の通りであります。(金額の比較は何れも平成17年3月期末との比較であります。)

総資産は、7億2百万円減少し、291億3百万円となりました。主な変動要因は、平成17年9月中間期において土地再評価に係る繰延税金資産22億59百万円を取り崩し資本の部と負債の部に配分計上しております。また、現金預金3億77百万円、商品3億43百万円等が減少いたしております。一方当社取扱商品が需要期を迎え売上増加により売掛金と受取手形が17億75百万円、田沼隣地に建築工事中の建築費用の一部を建設仮勘定として計上しております5億5百万円等がそれぞれ増加したこと等によるものであります。

負債は、5億54百万円増加して、57億円となりました。主な変動要因は、仕入債務の買掛金と支払手形で4億49百万円の増加、土地再評価に伴う繰延税金負債5億17百万円の計上と法人税の納付により未払法人税等が3億56百万円、未払消費税等92百万円等の減少によるものであります。

この結果前期末82.7%でありました株主資本比率は、当第3四半期末では80.4%となりました。

当第3四半期における現金及び現金同等物は、前期末と比較して4億39百万円減少して54億55百万円となりました。

当第3四半期中における各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動による資金は、6億61百万円増加(前第3四半期は43百万円の増加)いたしました。主な要因は、営業収入326億25百万円、利息及び配当金の受取と家賃等の賃貸収入が2億78百万円ありました。原材料、商品の仕入による支出で228億4百万円、人件費及びその他の販売管理費の支出で74億54百万円、法人税等の支出が17億22百万円あったこと等によるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動による資金は、5億40百万円減少(前第3四半期は3億11百万円の減少)いたしました。主な要因は田沼隣地に建設中の建物建設費用の支払により資金が流出したことによるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動による資金は、5億61百万円減少(前第3四半期は48百万円の増加)いたしました。期末配当金、中間配当金5億55百万円の支払により資金が流出したことによるものであります。

3. 平成18年3月期の業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たりの予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	42,400	3,968	2,266	93.42

(参考)1株当たりの予想当期純利益は、平成17年9月期末株式数24,257,826株(平成17年5月20日付けで1:1.2の株式分割を実施)で算出しております。

(注)上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかるリスクや不確定要素により実際の実績が記載の予想値と大幅に異なる可能性があります。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

上記予想につきましては、平成17年11月7日発表の中間決算短信から変更してありません。

[添付資料]

1 . (要約) 四半期貸借対照表

(単位 : 百万円、 %)

科 目	当四半期 (平成 18 年 3 月 期第 3 四半期末)	前年同四半期 (平成 17 年 3 月 期第 3 四半期末)	増 減		参 考 (平成 17 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産	15,887	14,634	1,253	8.6	14,644
現金預金	5,337	4,100	1,236	30.2	5,714
受取手形	1,170	1,107	63	5.7	808
売掛金	4,780	4,516	264	5.8	3,367
たな卸資産	3,714	3,892	177	4.6	4,049
繰延税金資産	186	175	10	6.3	194
その他	704	843	138	16.5	509
貸倒引当金	6	1	5	500	1
固定資産	13,215	15,163	1,948	12.8	15,161
有形固定資産	11,539	11,318	221	2.0	11,258
無形固定資産	52	58	6	10.3	55
投資その他の資産	1,623	3,786	2,162	57.1	3,848
繰延税金資産	141	149	8	5.4	150
再評価に係る繰 延税金資産		2,259	2,259		2,259
その他	1,501	1,387	113	8.2	1,446
貸倒引当金	18	9	9	100.0	7
資産合計	29,103	29,798	694	2.3	29,805
(負債の部)					
流動負債	4,525	4,624	98	2.1	4,460
支払手形	347	371	24	6.5	284
買掛金	2,524	2,556	32	1.3	2,137
未払金	478	447	31	6.9	366
未払法人税等	728	804	75	9.5	1,085
その他	446	444	2	0.5	586
固定負債	1,175	683	491	72.0	685
預り敷金保証金	170	234	63	27.4	236
退職給付引当金	79	69	9	14.5	67
役員退職慰労引当金	408	380	28	7.4	382
再評価に係る繰延 税金負債	517		517		
負債合計	5,700	5,308	392	7.4	5,146
(資本の部)					
資本金	1,405	1,405			1,405
資本剰余金	1,304	1,304			1,304
利益剰余金	26,696	25,039	1,657	6.6	25,197
土地再評価差額金	6,069	3,293	2,776	84.3	3,293
その他有価証券評価 差額金	81	44	37	84.1	56
自己株式	15	10	5	50.0	10
資本合計	23,402	24,489	1,087	4.4	24,659
負債・資本合計	29,103	29,798	694	2.3	29,805

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月 期第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月 期第3四半期)	増 減		参 考 (平成17年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	32,777	30,643	2,133	7.0	40,089
売上原価	22,366	20,526	1,840	9.0	26,975
売上総利益	10,410	10,117	292	2.9	13,114
販売費及び一 般管理費	7,467	7,232	234	3.2	9,553
営業利益	2,942	2,884	57	2.0	3,560
営業外収益	300	310	10	3.2	418
営業外費用	80	71	9	12.7	110
経常利益	3,162	3,124	38	1.2	3,869
特別利益		39	39		5
特別損失		36	36		4
税引前四半期 (当期)純利益	3,162	3,127	35	1.1	3,869
税金費用	1,377	1,429	51	3.6	1,659
四半期(当期) 純利益	1,785	1,698	87	5.1	2,209

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年3月 期第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月 期第3四半期)	参 考 (平成17年3月期)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	661	43	1,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	540	311	316
財務活動によるキャッシュ・フロー	561	48	48
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1	3
現金及び現金同等物の増加額	439	220	1,456
現金及び現金同等物の期首残高	5,895	4,438	4,438
現金及び現金同等物の期末残高	5,455	4,218	5,895